

バウムクーヘン 打合表

※バウムクーヘンは、ドイツ語で「木のお菓子」という意味です。

※事前に団体担当者の方がご記入ください。

実施日時		月 日 () 時 分 ~ 時 分		記入日 月 日 ()		団体担当者							
団体名				緊急時の為の携帯番号									
参加者数		名 セット数		セット (1セット6~8人程度 1,230円)									
班編成		人班 × 班		人班 × 班		交流の家での経験							
		人班 × 班		人班 × 班		□無・□有							
活動のねらい (該当に☑)													
□仲間との協力		□親睦		□アウトドアクッキング体験		その他 ()							
物品		竹	木炭	洗剤	スポンジ	ふきん	軍手	着火剤	マッチ	ライター	古新聞	うちわ	
持参													
売店で購入													
貸出希望		用具セット (1班に1セット) 【ボウル2個、泡立て器・キリ各1本】		() セット		携帯用救急バッグ □無・□有 ()		()	()			()	

※ 持参物品、売店で購入予定物品、貸出を希望される物品に○印、または数量を記入してください。

※竹 (1つ200円)、木炭 (800円 1班に1セット)、洗剤 (1班に1本60円 環境に配慮した洗剤です)、スポンジ (1個30円)、ふきん (1枚140円)、軍手 (1組70円)、着火剤 (1個150円)、ライター (1個150円)

●打合せ時記入欄 ※交流の家職員記入 (記入者)

集合時刻	集合場所					事前指導者
	() のかまど前・第1営火場 (雨天時:)					
かまどの割当	木	火	土	金	水	班の合計数 (セット数)
班の定数	6	4	5	4	6	
班の数						

※貸出用具は、職員が炊飯場までお持ちします。その後、団体の担当者に引き継ぎますので、活動終了後に事務室にお返しください。

※打合せ終了後、売店 (8:30~17:30) で物品の購入手続きしてください

●活動の流れ

- ①打ち合わせ終了後、売店 (8:30~17:30) で物品の購入手続きをしてください。
- ②事前に健康チェックをしてください。(食中毒予防上、手指に傷がある方は、調理担当以外の係を担当してください。)
- ③服装・持ち物等整えて、指導開始時刻5分前には、指定の場所に集合してください。
- ④交流の家の職員が事前に説明 (各係の役割・準備・調理・片付けについて) します。
- ⑤説明後、各係に分かれて活動してください。
- ⑥準備ができたなら活動を始めます。火災予防・火傷等には、万全の注意を払ってください。
包丁等、刃物の取り扱いにも十分注意してください。
- ⑦必要に応じて、“流し台灯”をつけてください。
- ⑧カラスなどが食材やごみを荒らすこともあります。目を離さぬよう管理してください。
- ⑨ゴミは、袋にまとめ、活動終了後に食堂に出してください。
- ⑩使った用具・食器類をきれいに洗い、水気を取り、数を確認してコンテナに納めてください。
※使った用具は、最終点検が終わるまで流し台の上に並べておきます。ただし、包丁・まな板は、安全管理上使ったらすぐに洗って用具庫にしまってください。(BBQコンロは水で洗わないでください。)
- ⑪使用した場所をきれいに清掃してください。清掃用具は、火・金のかまどの壁面にあります。流しや金網にたまったごみもすべてきれいに取り除いてください。営火場のトイレを使用した場合も清掃をお願いします。
- ⑫片付け終了後、各団体で一度点検をしてください。

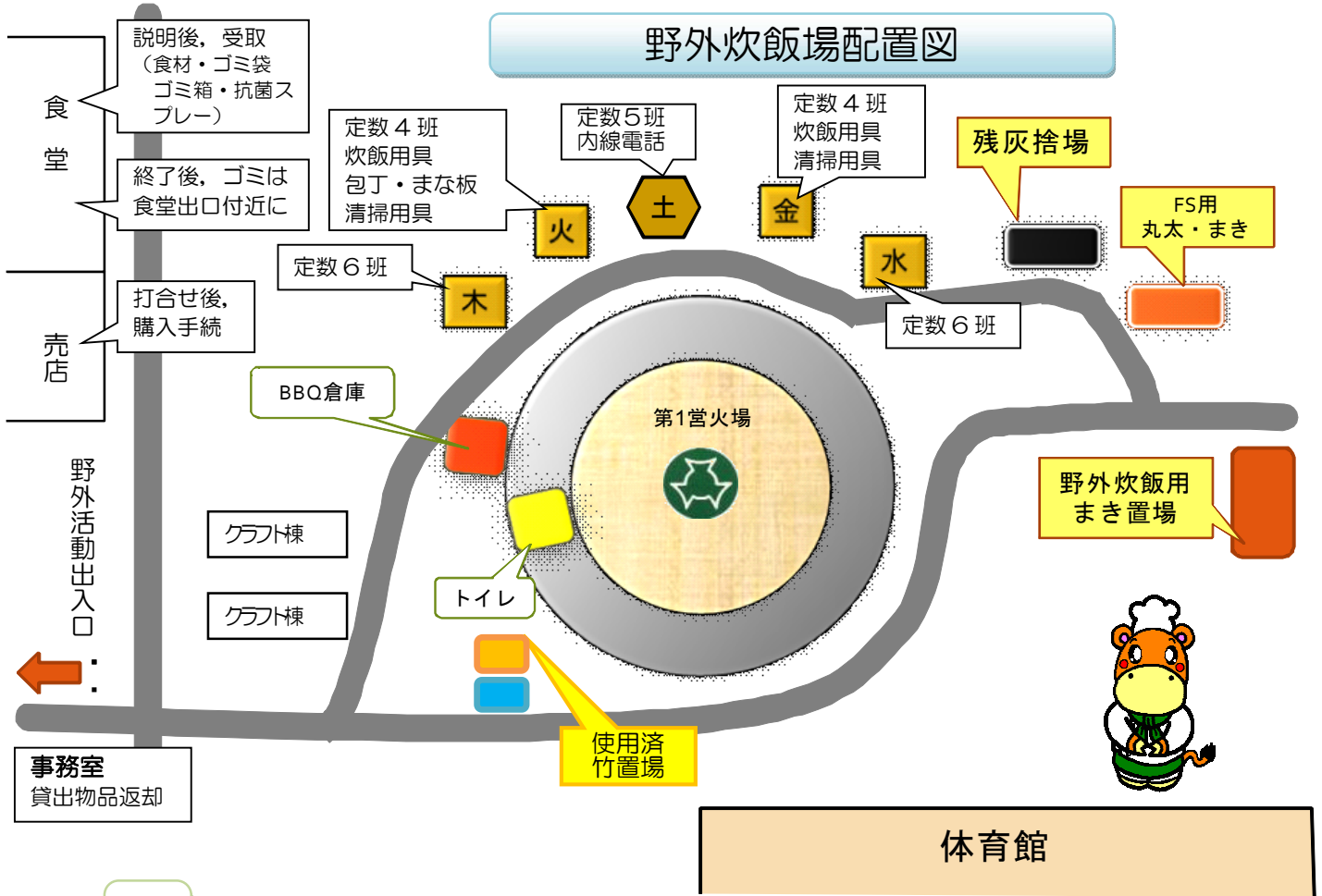
●点検について

団体での点検が終わったら、内線電話 (土のかまど) で事務室 (内線 333) に連絡してください。職員が最終点検に伺います。その際、団体の担当者各班の用具係で点検を受けてください。

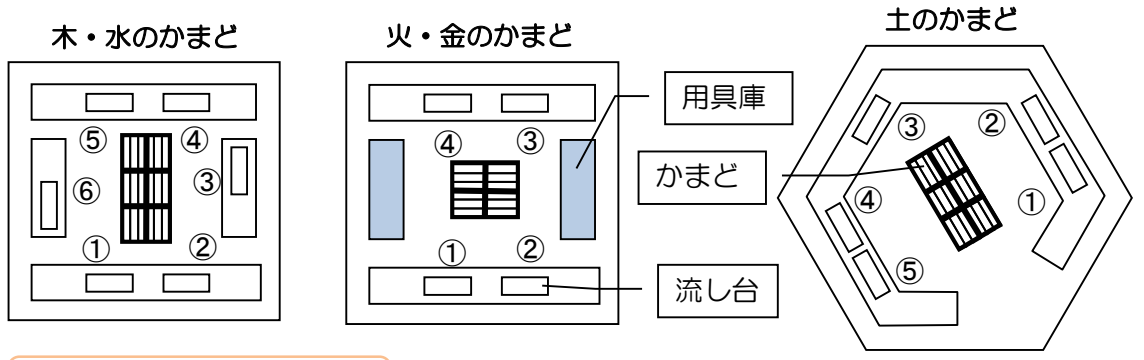
(やり直しもありますから、洗剤・スポンジ・ふきんを準備しておいてください。)

最終点検が終わったら、用具を用具庫に納めてください。

野外炊飯場配置図



かまど配置図



係の主な仕事

- 燃料係** (1~3人)
 - ①炭・薪(少量)の受取
 - ②炭起こし
 - ③残灰処理・BBQ掃除
 - ④火の管理・火災予防
- 食材係** (2~4人)
 - ①食材の受取(食堂へ)
 - ②生地づくり
 - ③残飯・ゴミの処理
 - ④流しの清掃
- 用具係** (2~3人)
 - ①用具の数の確認(受取時)
 - ②竹の準備(穴あけ・油取り)
 - ③用具の数の確認(返却時)
 - ④点検立会・用具返却

- ### 野外炊飯における安全指導
1. 事前に健康チェックし、健康状態がすぐれない人(下痢・皮膚炎・手指に傷のある人)には調理をさせないなど、食中毒予防に留意してください。
 2. 「やけど」には、十分気をつけて作業してください。
 3. 活動では、火・包丁など周辺に危険なものが多いので、常に整理整頓を心がけてください。
 4. ブトやマダニ、蚊などによる「虫刺され」や「やけど」を防ぐため、長袖・長ズボンを着用してください。
 5. ツタウルシ・スズメバチ・マムシ等危険な動植物にご注意ください。
- 【交流の家：Tel 0854-86-0319】
【事務室：内線 333】【救急車要請：Tel 119】